



RA WEB CONFERENCE

開催
日時

2016年 10月5日 (水)
19:00~20:00

会場

Web会場

Special Lecture

【今考えねばならないRA

バイオ治療薬の使い分け】

松野リウマチ整形外科 院長

東京医科大学 客員准教授 松野 博明 先生

【主催】 ヤンセンファーマ株式会社

講師

松野 博明 (マツノ ヒロアキ) 先生



--- ご略歴 ---

1984年 近畿大学医学部卒業
1984年 千葉大学附属病院、臨床見学生
1985年 川崎製鉄千葉病院、整形外科
1986年 千葉労災病院、整形外科
1987年 国立横浜東病院、整形外科
1988年 富山医科薬科大学附属病院整形外科
1991年 富山医科薬科大学・医学博士
2000年 同助教授
2003年 桐蔭横浜大学・先端医用工学センター教授
日赤医療センター・リウマチセンター外来主任
聖マリアナ医科大学難病治療センター非常勤講師
2005年 松野リウマチ整形外科開院
2011年 医療法人社団松緑会 松野リウマチ整形外科理事長
2013年 東京医科大学 客員准教授
2015年 日本リウマチ学会理事

---- Summary ----

現在国内では8剤のbDMARDsが関節リウマチ治療に使用可能である。1st bDMARDsが効果不十分のため、2nd bDMARDsの効果が有用であることについてのEBMは増えている。しかし、過去の試験はほぼTNFiを1stバイオとしてのデータであり、EULAR Recommendation 2016でも1st bDMARDsとして使用可能となったトシリズマブからのBio Switchを検討した論文はほとんど発表されていない。多くのエビデンスを踏まえて、2nd bDMARDsの選択を考察する。

不明な点がございましたら、弊社MRまでお問い合わせください。